

# 野田町ささえ愛便り No.63 (令和5年11月発行)

《在宅介護支援センター野田の郷》

☎ 0996-84-2998 担当 福井宏子



鹿児島県社会福祉協議会

「介護教室派遣事業」のご案内

『健康寿命を延ばす足腰げんき体操』を下記のとおり開催いたします。

日時：11月10日(金) 14時～15時  
場所：野田農村環境改善センター  
内容：『健康寿命を延ばす足腰げんき体操』  
講師：健康運動指導士  
定員：60名程度  
持参するもの：無し

※ 参加ご希望の方は、  
野田の郷(福井)まで  
ご連絡くださいますよう  
お願い申し上げます。



主催 野田地域包括ケア推進協議会

## 「田の神さあ」&「芋煮会」

田んぼを守り、米作りの豊作を祈願して祀られる石像の田の神様に、稲刈り後の藁で作った藁づとにおむすびを入れ、背中に背負わせました。



《だご汁》



《野田地区コミ主催 10月28日開催》

インドネシアと日本のカレーの違いを  
味わい、楽しく交流♪♪



## 「おじさんたちのうんまカレー食堂」試行

10月26日(木)、男の料理教室では、11月11日(土)に開催する小学生との交流会「うんまカレー食堂」の試行を行いました。

野菜や肉のカットの大きさ、作業の流れや時間の確認、試食の感想など、意見を言い合いました。

《手指爪の洗浄を念入りにして調理開始》



## 男ん衆で楽しむ会 『長島造形美術展見学』

10月27日(金)、4年ぶりに開催された造形美術展に出かけました。



若年性認知症と診断された丹野智文さんの実話  
～認知症になっても安心して暮らせる社会とは～  
映画「オレンジランプ」上映会

日時：11月23日 18時30分～20時15分

場所：風テラスあくね

申込必要：☎ 0996-73-1272

定員：200名

無料



## 松永 信也(まつなが のぶや)

網膜色素変性症によって40歳で完全に光を失い、初めて見えてきた世界をユーモアたっぷりに綴られる数々の体験。

健常者と視覚障害者がともに歩む社会を願う心暖まるエッセイ。

1957年 阿久根市生まれ

1969年 阿久根小学校卒業

1972年 阿久根中学校卒業

1975年 鹿児島県立川内高校卒業

1980年 佛教大学社会福祉学科卒業

児童福祉施設へ就職

1996年 網膜色素変性症悪化のため、施設を退職

1997年 京都ライトハウスにて、1年間の中途失明者生活訓練を受け社会復帰。

現在、大学や医療・福祉の専門学校などで非常勤講師、各地の小・中学校で特別授業を行う。

### 『ふるさとでの活動』より一部抜粋 R5年10月15日著

8日の早朝に家を出発、新大阪駅構内のカフェでコーヒーを飲み、薩摩川内市に到着した夜は同級生で偏屈のシゲキがやっている料理屋さんで大好物の焼きおにぎりとお漬物を頂いた。

僕は、日本で一番おいしい漬物だと思っている。

翌日から活動を開始。今回の鹿児島県での講演は7会場。まず、薩摩川内市の小学校5年生対象に、午後はいちき串木野市の更生保護の団体に講演。お土産に懐かしい郷土菓子の詰め合わせを頂いた。

生まれ故郷の阿久根市では、小中学校の同級生達が宴を催してくれた。卒業アルバムで確認できない僕は名前は記憶している、もう顔は思い出せない。わざわざ集ってくれた同級生達に心から感謝した。

その日の講演は午後だったので、ヨシノリは昼食を心配して、「俺の家で握メシを食べていけばよかが」と言ってくれた。ヨシノリの変わらないやさしさをしみじみと感じた。

阿久根市で開催された人権擁護委員研修会では、著書の中からヨシノリが温泉に連れていってくれた時の思い出話の『阿久根にて』を朗読して貰った。

薩摩川内市では、2004年の著書デビュー以来、ずっと応援してくださっている信子先生とも再会できた。幼児教育一筋で生きてこられた彼女の読み聞かせには、いつも引き込まれる。

今回も高校時代の仲間達が すべての場面でサポートしてくれた。新屋さんは高校時代と変わらない語り口と笑い声だ。料理上手のしん子ちゃんはいつも栄養満点のランチを準備してくれる。「ウチがちゃんと出るようにね。」と、僕の体調管理のために沢山のメニューを考え、ホテルでの夜食まで準備してくれた。

潮風に吹かれながらラジオ体操に挑戦したが、所々忘れていた。見様見真似ができない僕にピーちゃんが、背後から僕の手をとって教えてくれた。幸せだなんて思った。

最終日は民生委員さん、地域のサロンの皆さんに話を聞いてもらった。司会者のヨシユキが僕を「親友」と紹介してくれた。高校時代からずっと迷惑をかけて、途切れることなく50年が過ぎた。病院関係の理事をしている中川君も久しぶりに会いに来てくれた。この20年近い活動の半分は彼が中心となって引っ張ってくれている。薩摩川内市の市長をしている田中君は「良二じゃっど」と二度も講演会場に足を運んでくれた。高校時代の空手部の彼の笑顔が浮かぶ。多忙な業務の中での変わらない応援が嬉しかった。

そして、友人達に見送られて新幹線に乗り込んだ。ヨシユキが持たせてくれたしんこだんごの包みを開けた。隣の席が空いていたので香ばしいお醤油の香りがしても大丈夫と判断し、故郷の味を何本も味わった。

## 視覚障害者からのメッセージ 「風になってください」

### 《薩摩川内元気塾より》

